

### 3月29日：外国人投資家は引き続き売り越したが、ベトナム株は反発

全セクターの大型株に買いが入ったことでベトナム株は反発。だが、外国人投資家は引き続き売り越した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は1.16%高の1,175.68ポイントで引けた。この日は392銘柄が上昇、83銘柄が下落した。

出来高は依然として高い水準で国内投資家は14兆4,900億ドン以上を買い入れ、売買高は約6億6,055万株となった。

バオベト証券といった証券会社の予想とは反対にマーケットは上昇した。

「今週初めにマーケットは調整し、週後半に値を戻すだろう」（バオベト証券のアナリスト）

VN30指数も1.1%高の1,180.07ポイントだった。同指数組入銘柄のうち、29銘柄は上昇、1銘柄だけ下落した。

先週VN指数は2.67%下げ、変動のある動きとなったが、本日は全セクターに買いが入り、値を戻した。

銀行、不動産、建設、素材、交易、運輸、小売、情報技術セクターの株式は全て好調だった。

そのうち、マーケットへの寄与度上位5銘柄にはヴィエティンバンク（CTG）+2.43%、ビナミルク（VNM）+1.64%、VPバンク（VPB）+2.53%、ベトナムゴム工業グループ（GVR）+2.01%、軍隊商業銀行（MBB）+2.73%といった銀行、素材関連株が名を連ねた。

その反面、ペトロリメックス（PLX）は最も売られ、キンバックシティ（KBC）、技術インフラ開発（IJC）がそれに続いた。

ハノイ市場では大型株の上昇により、HNX指数が1.92%高の276.16ポイントで引けた。

HNX30指数は2.58%高の406.64ポイントだった。

売買高は1億7,819万株以上、売買代金は約2兆7,200億ドンとなった。

その一方で外国人投資家は売り越し続け、売り越し金額はホーチミン市場で1,536億4,000万ドン、ハノイ市場で199億3,000万ドン、UPCOM市場で65億8,000万ドンの計1,801億5,000万ドンとなった。

世界市場では、アジア・ヨーロッパ市場で売り買い交錯し、米国市場は上昇した。

日経平均株価指数が0.71%高、上海総合指数が0.5%高した一方で、豪州のASX 200は0.16%安、韓国総合株式指数は0.36%安となった。S&P500指数は1.66%高、ナスダック総合指数は1.24%高だった。

スエズ運河での大型船の立ち往生について、月曜日に通航が一部再開されたとの声明がスエズ運河当局から出された。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。